

2024年3月22日



「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について  
～株式会社コットンハウスのサステナブル経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一朗）は、株式会社コットンハウス（代表取締役 大場 晴久二）と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。当行は、今後もグループ一体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

## 記

1. 契約締結日 2024年3月22日（金）
2. 融資金額 50百万円
3. モニタリング期間 5年
4. 資金使途 事業資金
5. PIF 評価書 添付資料をご参照ください。

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。  
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

## 6. 株式会社コットンハウスの概要

代表者	大場 晴久二
本社所在地	静岡県浜松市中央区篠原町 21566
業種	一般住宅建築業
設立年月日	2008年7月22日

## &lt;記念盾贈呈式の様子&gt;



株式会社コットンハウス  
代表取締役 大場 晴久二 氏

株式会社名古屋銀行  
浜松支店長 柴山 知之

参考：「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の取り扱い開始について  
[https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin\\_PIF.pdf](https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin_PIF.pdf)

以上

# ポジティブインパクトファイナンス評価書

## ～ 株式会社コットンハウス ～



2024年3月22日  
株式会社名古屋銀行  
法人営業部 法人コンサルティンググループ

## はじめに

株式会社名古屋銀行は、株式会社コットンハウスに対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス（以下、めいぎん PIF）を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ（以下、UNEP FI という。）が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、株式会社コットンハウスの企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

## 借入人概要

借入企業	株式会社コットンハウス
所在地	静岡県浜松市中央区篠原町 21566
売上高	850 百万円（2023 年 7 月期）
事業内容	一般住宅建築業

## 融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	50,000,000 円
資金使途	運転資金
融資・モニタリング期間	5 年

## 目次

1. 企業情報	3
(1) 会社概要	
(2) 組織図	
(3) 経営理念	
2. 事業内容	5
(1) 概要	
(2) 住宅性能・仕様	
(3) こだわり	
3. その他の活動	10
(1) 人材育成	
(2) カーボンニュートラルへの取組	
(3) 地域清掃活動	
(4) 寄贈	
4. インパクトの特定	12
(1) インパクトマッピングによるインパクト分布	
(2) インパクト分布図	
(3) 国内のインパクトニーズ	
5. 測定する KPI	16
・ ポジティブインパクトの拡大	
・ ネガティブインパクトの縮小	
6. インパクト管理体制	18
7. モニタリング方法	18
8. 総括	18

## 1. 企業情報

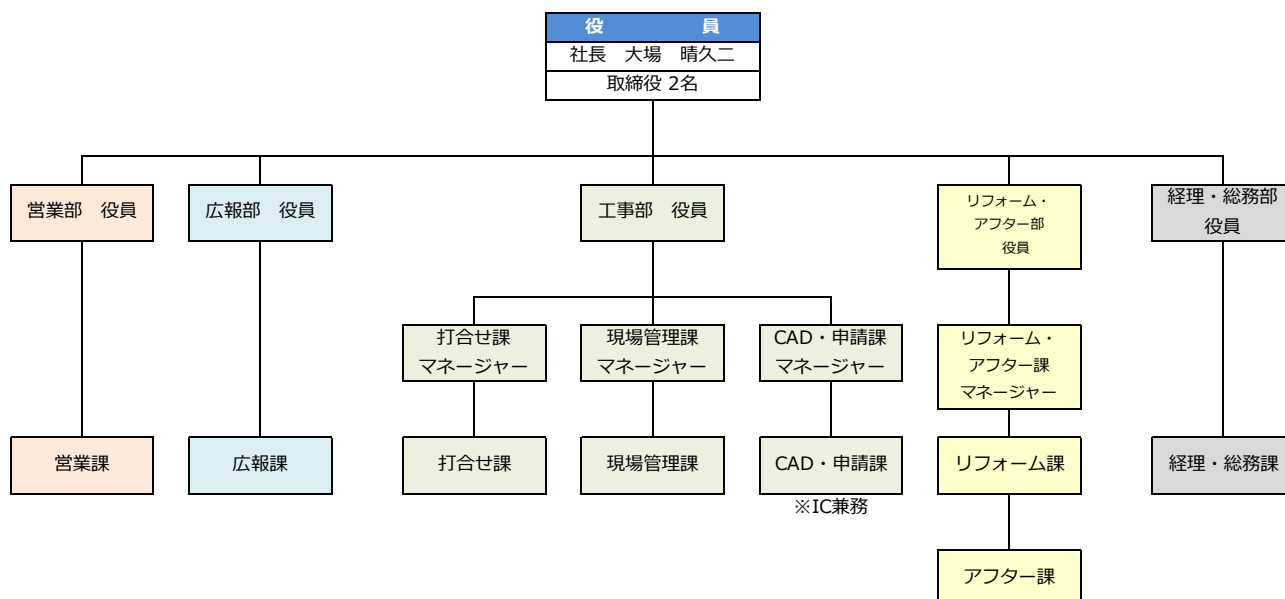


### (1) 会社概要

会社名	株式会社コットンハウス
設立年月日	2008年7月22日
代表取締役	大場 晴久二
本店所在地	静岡県浜松市中央区篠原町 21566
従業員数	19名 ※2023年11月末時点
決算日	7月20日
展示場	笠井展示場 : 静岡県浜松市中央区笠井町 1487-2 篠原展示場 : 静岡県浜松市中央区篠原町 21561 西ヶ崎展示場 : 静岡県浜松市中央区西ヶ崎町 1142-2
登録番号	一級建築士事務所 静岡県知事登録 第 6787 号 一般建設業許可 静岡県知事許可 第 035188 号 宅地建物取引業 静岡県知事(1)第 14156 号 住宅瑕疵保証・住宅あんしん事業者 届出事業者番号 05723 号 住宅瑕疵保証・株式会社日本住宅保証検査機構 J I O 届出事業者番号 A0601296 号



## (2) 組織図



## (3) 経営理念

品質、サービスの向上を目指す企業であり続けることを  
 私達の信念とします。創意と工夫に努め、  
 お客様の感動を喜びとし社会に貢献していきます。

『コットンのような家族をふんわりと包み込む家づくりを実現する』という思いをもって名付けられた社名の通り、1年を通して大きく気温が変化する日本において、耐えて過ごす家ではなく、1年を通して、暖かく、ぬくもりがある家づくりを通して、顧客の快適な未来を創造している。

上記に掲げた経営理念を柱とし、活気あるスタッフが一丸となって業務に取り組み続けることで、顧客満足度を向上させ、社会貢献性を高めている。



## 2. 事業内容

### (1) 概要



当社は浜松市を中心に、性能の高い住宅づくりを通じて「家族のやさしさ」や「環境配慮」を柱とした商品・サービスを追求し、顧客に感動と満足を提供するハウスメーカーである。

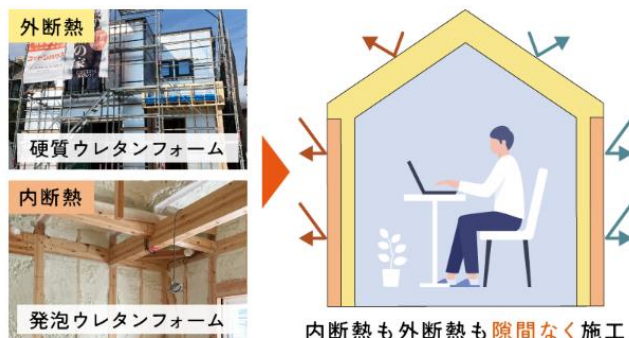
「デザイン性」や「耐震性能」はもちろんのこと、すこやかな暮らしを末永く保つことのできる「快適環境」の性能にも力を注ぎ、その中でも特に当社がこだわっているのは「断熱性」である。

当社では内断熱工法に加え住宅を断熱材で外からスッポリと覆う外断熱工法のダブル断熱を採用しており、この2つの断熱を組み合わせた「ハイブリッド断熱工法」を行えば、高気密・高断熱が実現され、夏は涼しく冬は暖かく年中快適な暮らしが可能となる。

また、外気温の影響を受けにくいことや、エアコンで調整した室内の温度を逃がすことが少ないため、少ないエネルギーで快適な空間をつくる「省エネ性能」が高く、光熱費削減とともに環境にやさしい暮らしがつけられることに繋がっている。

## (2) 住宅性能・仕様

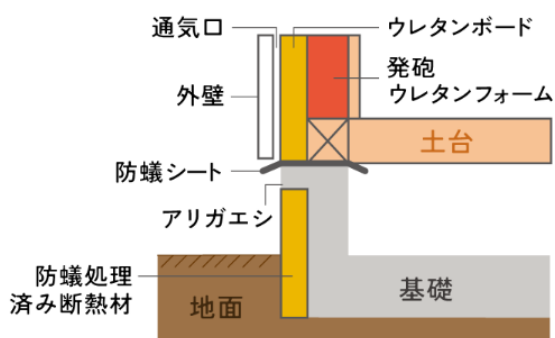
### ① ハイブリッド断熱



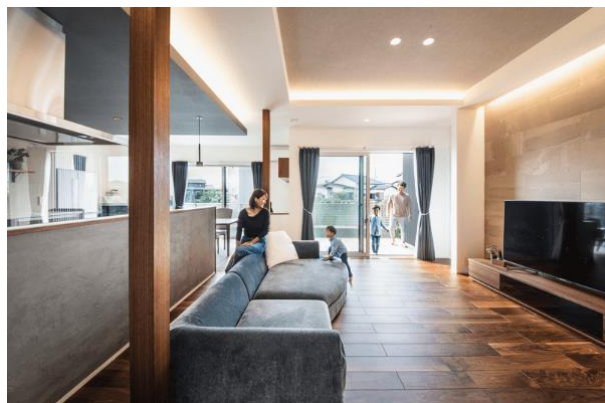
「ハイブリッド断熱」とは、断熱性・気密性が非常に高い外断熱工法に加え、壁内部の構造躯体に発泡ウレタンフォームを吹き付けた内断熱工法の2つの工法を組み合わせた断熱工法である。

ハイブリッド断熱の家は、家全体を断熱材で覆った魔法瓶のような家のため、外気温の影響を受けにくく、室内温度が1年を通して安定しやすいことが特徴である。

基礎にも断熱材を使用しているため、通常住宅よりも格段に断熱性がアップされており、結果として快適空間の創出、光熱費削減＝CO<sub>2</sub>排出量の削減、ヒートショック予防といった効果をもたらしている。



### ② オーダーメイドデザイン



その土地によって気候条件が大きく異なり、ライフスタイルが多様化する日本において、個々の顧客の要望に寄り添い、「満足」と「感動」で満たされたオーダーメイドデザインを提供している。

設計士、現場監督、インテリアコーディネーターが、それぞれの視点からオリジナリティを追求したデザインを提案し、家が完成したことの満足に加え、住んでからの満足も永続的に感じられる家づくりを目指している。



### ③ 樹脂サッシ



当社では開口部の断熱対策として、Low-E トリプルガラス&樹脂サッシを採用している。

窓などの開口部から逃げる熱は、家全体から逃げる熱の 50% 以上を占めており、開口部における対策も非常に重要となる。

トリプルガラスは3枚のガラスと2つの空気層によって断熱性能を高め、表面温度を室温に近い温度に保てるため、結露の発生を防止できることに加え、ガラスの表面に Low-E 膜といわれる特殊な金属膜（酸化錫や銀）をコーティングしたガラスと、窓の層の間に高性能ガスを封入することによって、一般的なペアガラスアルミサッシの2倍の断熱性能を実現している。断熱性が高くアルミの 1000 分の 1 の熱伝導率を誇る樹脂製サッシを採用することで更なる断熱性能の向上により、冷暖房エネルギーのロス防止に繋がっている。

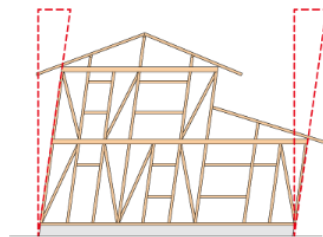
### ④ 耐震性

特定の消防署や病院レベル



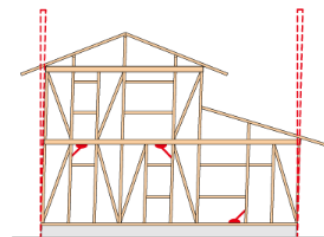
耐震等級1の1.5倍の  
地震力にも対抗する強さ

ダイナコンティなし



揺れが早くて大きい

ダイナコンティあり



揺れがゆっくりで小さい

顧客に末永く安全に住み続けてもらうため、当社は耐震仕様についても重点的に取組んできた。

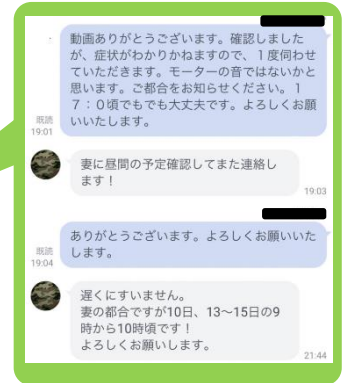
国土交通省が定めた住宅性能表示制度である耐震等級において、コットンハウスは最も高い耐震等級3相当（建築基準法の 1.5 倍の強さ）の耐震を実現していることに加え、建物そのものの重さや、積雪時の重さ、家具を設置したときの重さなどによって、建物がどのように変形し、どのような応力が生まれるのかを計算し、建物の安全性を確かめる「構造計算」を全棟で必ず調査し、地震・積雪・風力に対して信頼度の高い強度計算を行っている。

また、基礎工事については、高密度に配筋を施した鉄筋コンクリートを底板全体に施して地盤と基礎の一体性を高め、建物の荷重を「面」で受けとめる「ベタ基礎」を採用しており地盤沈下リスクを軽減させている。

他にも地震対策として、「地震に効く」木造建物用制振ダンパーである「ダイナコンティ」を設置しており、建物が揺れる方向と反対にダンパーが動き、揺れにブレーキをかけることで、早い揺れをゆっくり、大きい揺れを小さくし、建物に伝わる地震のエネルギーを約 20~40%軽減する効果をもたらしている。

### (3) こだわり

#### ① 顧客エンゲージメント



当社では顧客との距離を縮めて、エンゲージメントを高めるために様々な施策を実施している。例えば、施主への日頃の感謝を込めた定期イベントやバーベキューなどの催し物の開催や、毎年年末年始の施主様宅への挨拶訪問等、担当者と施主の交流の場を創出されるような取組を行うことで、顧客が気軽に要望・意見を担当者に言える関係性が構築され、満足度向上に繋がっている。

また、オーナー専用のLINEにて、住宅に関する問い合わせを24時間365日受付（対応は営業時間内のみ）し即時対応する体制が整っており、相談のしやすさと対応までの早さが好評を得ている。

#### ② 長期保証

##### 建物初期保証20年保証内容

<b>保証の期間</b>	住宅のお引き渡し日から20年間
<b>保証対象</b>	・構造耐力主要な部分 ・雨水の侵入を防止する部分

##### 「無料点検・20年初期保証・10年間設備保証」の安心アフターサポート

保証項目	保証期間	点検状況
建物初期保証 (構造体・防水)	20年 初期保証	● 1年 ● 2年 ● 5年 ● 10年 ● 15年 ● 20年 ● 30年 ● 60年まで延長可能
住宅設備保証	10年 保証	● 1年 ● 2年 ● 5年 ● 10年 ● 15年 ● 20年 ● 30年 ● 60年まで延長可能
地盤保証	30年 保証	● 1年 ● 2年 ● 5年 ● 10年 ● 15年 ● 20年 ● 30年 ● 60年まで延長可能
シロアリ保証	20年 保証	● 1年 ● 2年 ● 5年 ● 10年 ● 15年 ● 20年 ● 30年 ● 60年まで延長可能
定期点検		● 1年 ● 2年 ● 5年 ● 10年 ● 15年 ● 20年 ● 30年 ● 60年まで延長可能

当社では、高い技術力・住宅性能から実現した高耐久性と、定期的な点検・適切なメンテナンスを行う体制により、独自の長期保証制度が設けられている。

建物において重要な構造・防水の不具合の責任期間は、法律で10年と定められているため、住宅会社の保証は10年というのが一般的であるが、当社は顧客に長期の安心を提供するために初期保証を最低20年間で設定しており、最長では60年まで延長可能（有償）である。

さらに、住宅設備機器に保証対象となる故障や不具合が発生した場合、10年間無料で出張修理や部品交換が何度でも受けられ、修理に関わる部品代、出張料、作業等全てを無料としている。

これらの手厚い保証制度は、大きな資本力を有する大手ハウスメーカー並の内容となっており、製品品質とメンテナンス技術の高さを伺うことができる。

### ③ 5S活動



5S活動とは「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「躰（しつけ）」の頭文字を取ったもので、当社が作業現場において特に重要視している活動である。

創業当初から5S活動は効率的な仕事を促進し生産性を高めることはもちろんのこと、施工ミスの防止や作業の平準化による品質の向上、さらには作業風景を見学する施工主に対して安心感を与えることにも繋がると考え、代表者を中心に全従業員が率先して実施している。

### ④ パッシブハウス加盟

一般社団法人パッシブハウスジャパン  
**PASSIVEHOUSE JAPAN**  
[www.passivehouse-japan.org](http://www.passivehouse-japan.org)

コットンハウスはパッシブハウス・ジャパンに加盟しています

パッシブハウスとは、ドイツで誕生した世界基準に照らし合わせて最高峰の気密性・断熱性を確保した住宅のことであり、同国のパッシブハウス研究所が定めたエネルギー消費基準を満たして認定を受けた建築物のみを「パッシブハウス」と呼ぶことができる。

当社の持つ技術とノウハウを駆使すれば、パッシブハウスの施工も可能であり、世界最高峰の性能を有する住宅を提供できる企業として、国内唯一の認定機関である（一社）パッシブハウスジャパンにも加盟している。

### 3. その他の活動

#### (1) 人材育成

##### ☆セブンアクト☆ 7 Acts (7つの基本動作)

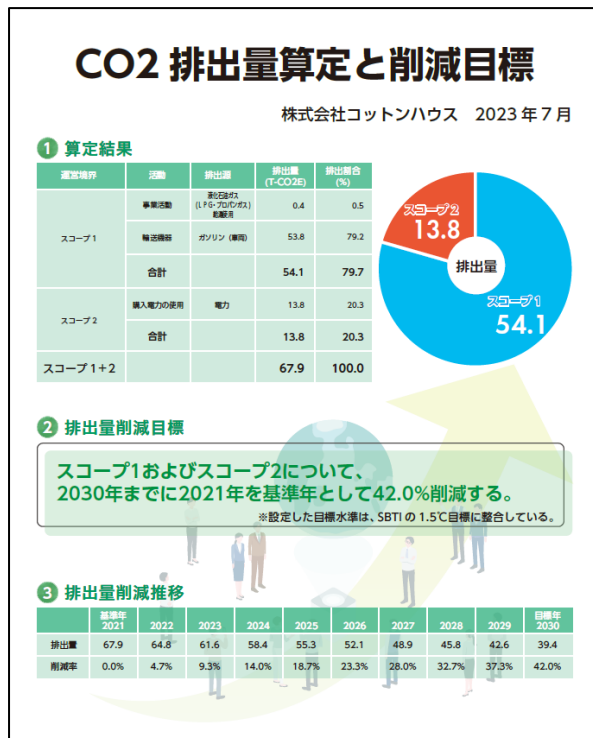
1. あいさつが示す人から、躊躇せず先手で明るくハッキリと。
2. 返事は行為のパロメーター、打てば響く「ハイ」の一言。
3. 気づいたことは即効即止、間髪入れずに実行を。
4. 先手は勝つて5分前、心を整え完全燃焼。
5. 背筋を伸ばしてアゴを引く、姿勢は気力の第一歩。
6. 友情はルールを守る心から、連帯感を育てよう。
7. 物の整理は心の整理、感謝を込めて後始末。

資格	資格者数
一級建築士	3名
二級建築士	5名
一級建築施工管理技士	1名
二級建築施工管理技士	1名
インテリアコーディネーター	2名
宅地建物取引士	2名
<b>合計</b>	<b>14名</b>

当社では従業員全員の基本動作を明示した「セブンアクト」を規定し、全ての行動の指針であるとともに、育成の基盤としても活用が為されている。実務についてはOJTによる職場教育を基本とし、上長と担当者が一緒に個人目標を考え、それに対してどのように進捗させていくのかについて話し合いPDC Aサイクルを回していく文化が醸成されている。

他にも、資格学校入学補助金制度や資格手当、外部セミナー参加支援、試験前の特別休暇取得制度等、成長意欲に応えるための各種施策を実施しており、円滑な人材育成が行われている。

#### (2) カーボンニュートラルへの取組



当社ではカーボンニュートラル社会の実現に向けた様々な取り組みを実施している。

本社には太陽光発電を設置し総消費電力の25%を賄うとともに、高性能サッシ活用による断熱性向上及び消費電力削減に努めている。

決算期には1年間のCO2排出量を算定し現状把握・分析も行っており、当初設定した削減目標達成に向け、今後とも実効性の伴う取り組みを積極的に実施していく方針である。



### (3) 地域清掃活動



地域に支えられている企業として、また地域貢献活動の一環として、清掃活動に取り組んでいる。事務所周辺のごみ拾いは月に1回以上必ず行っており、来店する顧客や住民の方々に少しでも「きれいな街だ」と感じてもらえるよう全社員で続けている。また、6ヵ月に1回は日本三大砂丘の一つとされる中田島砂丘（浜松市中央区）において、社員11名でゴミ拾いを行い、1時間半で50kgに及ぶゴミを収集した。

これらの活動を通して、住み続けられる街づくりに貢献するとともに、住民とのパートナーシップを図りながら、地域の活性化に寄与している。

### (4) 寄贈



2022年12月、手数料の一部を地域の教育機関や地方公共団体、NPO法人等に寄附・寄贈に充てるSDGs・寄贈型融資に当社は取り組んでおり、浜松聖星高等学校の吹奏楽部にスネアドラムを寄贈した。

今後とも上記のようなCSR活動を通じて、地域社会の繁栄に積極的に貢献していく方針である。

## 1. インパクトの特定

### (1) インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル（非開示）により株式会社コットンハウスの主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。株式会社コットンハウスの事業活動について「★★」「★」の影響を中心として検討する。

また、川上の事業についてもポジティブな影響の促進やネガティブな影響の緩和に株式会社コットンハウスの事業が貢献できることがないか検討する。

なお、川下の事業については、一般顧客が対象となるため検討は行わない。

分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。



(2) インパクト分布図

インパクトカテゴリ	川上事業								同社事業			
	【 4100 】		【 中分類42 】		【 中分類43 】		【 4663 】		【 6810 】		【 7110 】	
	建築工事業		土木工事業		専門工事業		建築材料、金物類及び配管・暖房設備器具卸売業		自己所有物件または賃借物件による不動産業		建築・エンジニアリング業及び関連技術コンサルタント業	
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	
水（入手）			★★		★★							
食料												
住居	★★				★★		★		★	★	★★	
健康・衛生	★	★		★	★		★		★	★	★	
教育												
雇用	★	★	★★	★	★	★	★	★	★	★	★★	★
エネルギー	★	★	★		★		★					
移動手段			★★									
情報			★		★							
文化・伝統		★		★★		★★			★	★		
人格と人の安全保障		★										
正義												
強固な制度・平和・安定												
水（質）		★		★		★		★				
大気		★		★		★		★				
土壌		★		★		★				★		
生物多様性と生態系サービス		★		★				★		★		
資源効率・安全性		★		★		★				★★	★	
気候		★★		★		★		★		★★		
廃棄物		★★		★		★		★		★		★
包摂的で健全な経済	★		★★							★		
経済収束	★		★★	★								

●川上事業

地元ハウスメーカーとして、地域の住宅需要に応える当社の川上事業としては、不動産仲介業や住宅建築に関する専門工事業、資材卸売業が該当する。

当社が耐震性に優れ、劣化対策基準も高位である長期優良住宅の施工件数を増加させ続けることは、住宅の建替えや改修を必要とする回数を減らすことで解体・除去に伴う廃棄物・GHG排出の抑制により『大気』『気候』『廃棄物』のネガティブインパクト（N I）縮小に貢献すると考えられる。

また、当社が引き続き省エネルギー性（光熱費の削減＝CO2排出の抑制）を追求することは、省エネ資材（断熱性の高い樹脂サッシ、発砲ウレタンフォーム等）の普及と、各種製品の開発・成長にも繋がっていると考えられ、『気候』のN I縮小への貢献が認められる。

## ●同社事業

地元根差すハウスメーカーとして、人がより快適に過ごせる住宅の開発を担う当社は、下記カテゴリにおいてP I拡大への貢献が認められる。(なお、『文化・伝統』のカテゴリについては、当社事業内容とは関係がないものとし検討対象外とした。)

当社が建てる住宅「コットンハウス」は長期優良住宅認定基準を満たし、事前の構造計算調査や制震ダンパー（ダイナコンティ）設置によってもたらされる高い耐震性や、維持管理・更新の容易性が確保された内装・設備、劣化対策が最高水準にある構造躯体設計といった特長は、安全で快適な暮らしを創出しており『住居』『健康・衛生』のP Iを拡大し、住宅の長寿命化を実現させることで『資源効率・安全性』『廃棄物』のN Iを抑制させている。

また、外断熱と内断熱を組み合わせた「ハイブリッド断熱工法」や、ペアガラスアルミサッシの2倍の断熱効果を実現する「Low-Eトリプルガラス&樹脂サッシ」などを活用してもたらされる高断熱性（省エネルギー性）は、当社が特に注力している分野であり、『気候』のN I縮小に繋がっている。今後は新築事業分野のみならず、リフォーム事業分野でも高断熱性技術を活用し、更なるN I縮小を図ることを予定している。

人材育成においては、行動指針（セブンアクト）に基づき、個人の目標達成に向けて管理者が伴走する体制が整えられるとともに、外部セミナー参加支援や資格取得支援・資格手当制度の活用を推奨することで、OJT・OFF-JTの両面での育成が図られ、『雇用』のP I拡大が成されている。今後はシステム導入による業務効率化も計画しており、残業時間の削減や従業員の働きやすさ向上の面からも『雇用』のP I拡大・N I縮小への貢献を図る。

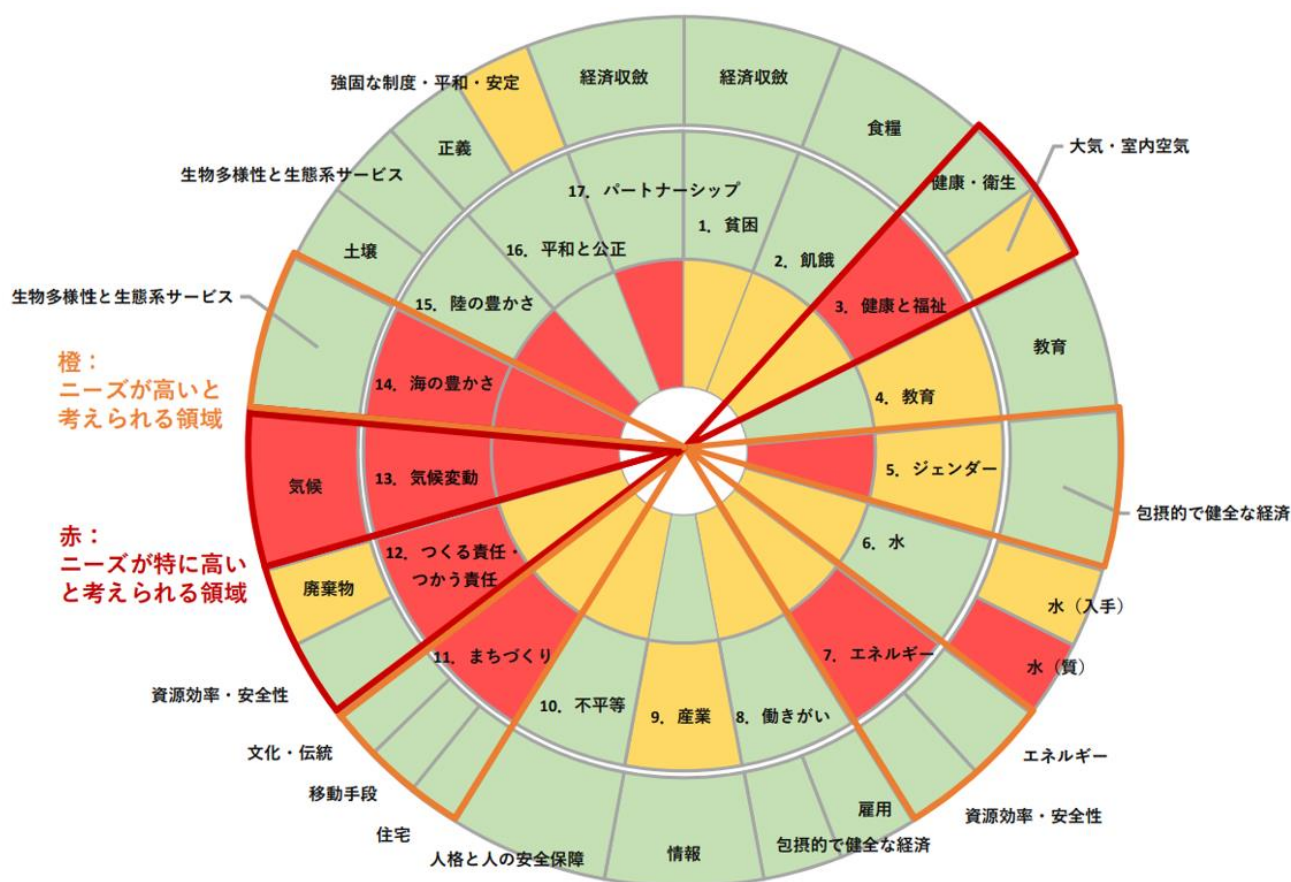
『土壌』『生物多様性と生態系サービス』に対しては、法規制を遵守し、然るべき区域のみで建設を行っているため、N Iの影響は軽微なものに抑えられている。

カーボンニュートラルの取組みも順次進めていく意向があり、毎年のCO<sub>2</sub>排出量の算出・分析の精度向上のために全展示場に使用電力量を測定・記録する「電力ロガー」を設置し、CO<sub>2</sub>削減目標達成に向けた施策（照明時間の調整や空調温度設定、従業員への省エネ意識向上など）に活用し、『気候』のN I縮小を目指す。

(3) 国内のインパクトニーズ

環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべき SDGs を赤色、取り組むべきであるが不十分な SDGs を黄色、その他を緑色としているものである。

次ページの「5. 測定する KPI」において名古屋銀行が特定した株式会社コットンハウスのインパクトと対応する SDGs ゴールのうち「3, 7, 11, 12, 13」について、赤色もしくは黄色のゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズとの整合的である。



## 2. 測定するKPI


### (1) 長期優良住宅・高断熱性住宅の普及、拡大

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大、環境面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	『住宅』『健康・衛生』『資源効率・安全性』『廃棄物』
関連するSDGs	   
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全性、快適性、省エネルギー性が高く、長く住み続けることが可能な長期優良住宅の有用性を推進、販売し着工件数を増加させる</li> <li>・当社の得意とする「省エネルギー性」に特化した断熱リフォーム事業を開始する</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2028年度までに長期優良住宅の年間着工件数 50 棟を達成する（2023年度着工件数：38 棟）</li> <li>・2023～2028年度で断熱リフォーム事業における累積受注件数 10 件を達成する</li> </ul>

### (2) 働きやすく成長しやすい職場づくり

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大、社会面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	『雇用』
関連するSDGs	
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務効率化のためのシステム導入（DX化）を進める</li> <li>・社内勉強会の開催、資格取得学校入学補助制度活用の推奨により有資格者を増加させる</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2028年度までに月間平均残業時間を 15 時間以下まで抑制する（現状 17 時間）</li> <li>・2028年度までに 1 級建築士を 4 名（現状 3 名）、2 級建築士を 7 名（現状 5 名）、宅建士を 4 名（現状 2 名）にまで増員させる</li> </ul>

(3) カーボンニュートラルへの取組み

項目	内容
インパクトの種類	環境面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	『気候』
関連するSDGs	
対応方針	展示場を含む全拠点に電力ロガーを設置し、照明時間の調整や空調温度設定、従業員への省エネ意識向上等の施策実施に活用の上、削減目標達成を目指す
KPI	・CO <sub>2</sub> 排出量を毎年年間4.2%以上削減させる

### 3. インパクトの管理体制

株式会社コットンハウスは大場社長を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部及び法人本部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、代表者が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

#### インパクト管理者

最高責任者	代表取締役 大場 晴久二
-------	--------------

### 4. モニタリング方法

株式会社コットンハウスに対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者（法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者）により年 1 回以上の協議を通して実施する。年 1 回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

### 5. 総括

株式会社コットンハウスの事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。株式会社コットンハウスが KPI 達成を目指すことで社内、地域社会への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。